

児童の健全育成を願う、心を一つにした取組

学校・家庭・地域・行政・企業・大学との連携

活動の名称

安井小はみんな家族・生活をふりかえろう

団体等の名称

京都市立安井小学校

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
- 児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
- 病院・保健所 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会） 行政（保健・福祉部局） 行政（その他の部局）
- その他（同志社女子大学）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

子どもたちの心と体を元気にするために、学校と様々な団体とが心を一つにして、子どもたちの生活習慣を改善する。

◆ 主な活動内容

◆ 家庭に対する啓発活動

- ・「子どもを共に育む『親支援』プログラム～ほっこり子育てひろば～」(京都市教育委員会作成)を活用し、「生活リズム」をテーマに保護者同士の話し合いを実施
※就学前児童のいる家庭に対しても行い、早い段階から啓発
- ・入学前に行われる給食試食会において、保健・生活にも触れた保護者啓発を実施



ほっこり子育てひろばの様子

◆ 児童の意識向上にむけた取組

- ・児童活動や委員会活動における、保健や食育に関する紙芝居作成やクイズづくり
- ・給食調理員による給食の献立説明や、食材に関する給食クイズを学校のHPに毎日掲載
- ・夏祭りで、学生ボランティアによる「生活習慣」をテーマにした紙芝居・劇・クイズなどを実施
その映像をDVD化して学級指導の場でも活用
- ・PTA活動を巻き込んだ、挨拶運動の実施や夏祭りなどにおける「早寝・早起き・朝ごはん」についての話題提供
- ・京都サンガFCの池上コーチが児童に対し、「スポーツの楽しさの基盤には、規則正しい生活習慣が大切である」ことを伝える授業を実施

◆ 活動の成果と今後の展望

<成果>

子どもたちの生活を見直すために実施している生活調査から、これまでの取組が「早寝・早起き・朝ごはん」に対する理解を深め、児童の学習意欲の高まりを導いているという効果が見えた。保護者や教職員が意識して取り組んだ成果である。

<今後の展望>

今後も、学校・地域・行政・企業・大学が連携した取組を継続することで、児童が様々な面から生活習慣を見つめ直すと共に、学力向上にもつなげていく。



夏祭りの様子